

## Sigfox 自動検針コンソーシアム

第一環境株式会社

アズビル金門株式会社

KDDI 株式会社

京セラコミュニケーションシステム株式会社

【**標題**】\*\*\*\*\*

### 新技術「LPWA」活用による自動検針の稼働開始

～水道向け Sigfox 自動検針ソリューション～

【**本文**】\*\*\*\*\*

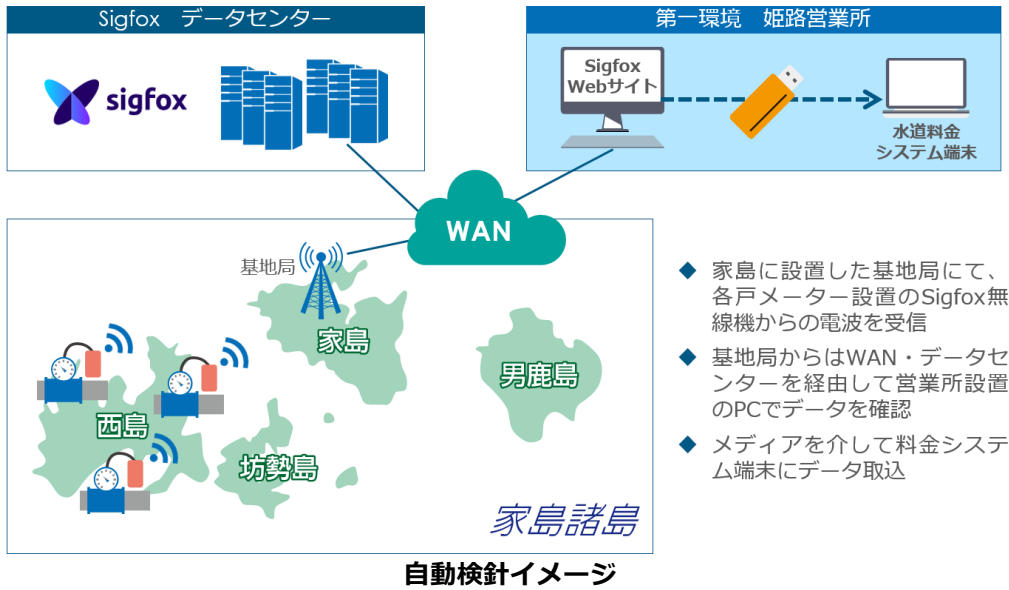
第一環境株式会社・アズビル金門株式会社・KDDI 株式会社・京セラコミュニケーションシステム株式会社の 4 社による「Sigfox 自動検針コンソーシアム」は、離島や山間部など、現場を訪問して水道の検針をすることが困難な難検針への対応を効率的に実施すべく、姫路市水道局様ご協力のもと、市内島しょ部である家島町の西島に設置された水道メーター 28 個と一部 LP ガスメーターを対象として、新技術 Sigfox を活用した自動検針システムの導入に向け、Sigfox コンソーシアムを結成して準備を進めてまいりました。

水道検針については、2017 年 11 月 14 日検針分より本稼働させ、請求データとしての利用を開始しますので、お知らせします。

【**内容**】\*\*\*\*\*

近年大きな注目を集めている LPWA（注 1）の中でもアンライセンス LPWA は、特定小電力無線と同じ周波数帯・出力（つまり免許不要で機器の電池寿命が長い）にも関わらず、通信距離を大幅に伸ばすことを可能とした技術であり、日本でも、通信会社による当該技術を活用した通信サービスや機器メーカーによる対応無線発信機の開発が進みつつある状況です。今回活用する「Sigfox」（注 2）はその一つであり、いち早く日本国内でのサービス提供体制を整えていることから、早期実用化が可能であると判断し、導入・実用化に向けて準備を進めてまいりました。

自動検針にあたっては、Sigfox 無線発信機付き電子式水道メーターを西島島内 28 カ所に設置しており、検針データは隣接する家島に設置した Sigfox 基地局を通じてデータセンター（クラウド）に集約され、Web サイトから確認できます。



Sigfox 無線発信機付き電子式水道メーター（アズビル金門(株)製）

水道メーターの設置施工例

なお、本件実施にあたって 4 社（第一環境株式会社・アズビル金門株式会社・KDDI 株式会社・京セラコミュニケーションシステム株式会社 順不同）が、各々の得意分野の技術・ノウハウ等を活用することにより、高水準のシステム・サービスを提供することができる体制を確立しています。



(注1) LPWAとは「Low Power Wide Area」の略で、少ない消費電力で、km単位の距離で通信できる無線通信技術の総称です。

機器のバッテリー消費を抑えながら、データを収拾する基地局まで電波を届けることができるということで、特にIoT (Internet of Things、モノのインターネット) 向けなどに有用な技術であるということから注目を集めています。

2017年11月14日時点では、免許不要周波数帯の電波を利用するIEEE802.11ah (Wi-Fi HaLow)、LoRa、Wi-SUN、Sigfoxなどいくつかの規格があり、世界各国で実用化され始めています。

(注2) SigfoxとはフランスのSigfox社が2009年から提供しているIoT用のネットワーク規格です。日本では京セラコミュニケーションシステム株式会社が事業者となり、国内でのサービスを提供しています。現在36カ国で展開され、2018年には60カ国に拡大される予定です。

以上

\*掲載されている情報は、発表日現在の情報です。